

2025年を見据えて
地域共生社会の創造

少子高齢化、人口減少が進む2025年を見据えて、いかに住民満足度を落とさず、持続可能な社会を創っていくか、そのキーワードが共生社会であります。簡素・効率・適時適切でできる細やかな支援を行うには、行政が全ての公共サービスを担っていくのではなく、地域運営組織の存在が不可欠であり、住み慣れた地域での支え合いの仕組みを構築する「地域共生社会」の創造が求められております。

平成15年度に、本市において進むべき方向性を定めた総合計画「理想郷プラン」を公表させていただきました。そして「若いも若きも、男性も女性も、障害や難病のあるなしにかかわらず、全ての市民の皆様の社会参加が叶う互助共生の社会」の実現を目指したさまざまな取り組みの推進により、ソーシャルキャピタル(※)の醸成を図ってまいりました。

そのような中、昨年3月に国立社会保障・人口問題研究所が5年ごとにまとめている地域別将来推計人口が公表され、5年前と比較しますと、多くの自治体で人口減少が加速し、下振れする中、本市の将来推計人口は1000人~1300人の規模で上方修正されました。本市の人口推移をみますと、15歳未満の転入超過傾向が継続しています。また、昨年はその親世代にあたる世代も転入超過に転じました。さらに、介護予防をはじ

(※) ソーシャルキャピタル: 社会・地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念

平成31年度施政方針

平成31年度の市政運営について、3月の定例会で亀井市長が基本的な考え方を述べました。今号では、その一部を紹介します。(市ホームページに全文を掲載しています)

総合企画政策室 63-7389



め、市民の皆様が健康づくりに取り組んでいただいた結果、要介護度別認定率などが国や三重県よりも低い値となっており、当市の社会保障費の増加が抑制されております。これらは、市民の皆様と力を合わせ各種施策の推進に努めてまいりました一定の成果の表れであります。

本年は、5月に平成から次なる元号に代わるという歴史的に大きな転換点を迎え、本市においては市制施行65周年を迎えさせていただきます。これまで築き上げてきた土台の上に、互いに助け合い人と人との結びつきによって生まれる地域共生社会を創造すべく、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

名張市総合計画「新・理想郷プラン」のさらなる推進

平成28年度から概ね10年間とする総合計画「新・理想郷プラン」の基本構想に基づく第1次基本計画が、平成30年度をもって計画期間を終えることから、これまでの取組成果や課題を踏まえ、平成31年度からの4年間を計画期間とする第2次基本計画を策定しました。計画の実現に向けては、基本構想に定める「元氣創造」「若者定住」「生涯現役」の3つの重点戦略および5つの基本目標に基づく各種施策をさらに推進し、地域共生社会を進化発展させながら、まちづくりと行財政改革に取り組み、魅力ある名張づくりにつなげてまいります。

「新・理想郷プラン」第2次基本計画



3つの重点戦略

■ 元氣創造プロジェクト

- ◎ 就業機会の確保と雇用の創出
- ◎ 地域産業を担う人材の育成
- ◎ 地域産品、地域資源を活用した「名張ブランド」の創出
- ◎ 自然・食・歴史・文化などを活用した観光戦略の推進
- ◎ シティプロモーションの展開
- ◎ 移住の促進と支援



■ 若者定住プロジェクト

- ◎ 「名張版ネウボラ」の推進
- ◎ 育ちと学び、人と人をつなげる小中一貫教育の推進
- ◎ 子育てしやすい労働環境整備
- ◎ 安心・安全な子育て環境づくり
- ◎ 病院機能の充実(産婦人科の開設)



■ 生涯現役プロジェクト

- ◎ 「健康なばり」の推進
- ◎ 世代間交流の促進による地域の元氣創造
- ◎ 支え合いの地域福祉の推進
- ◎ 「達成感」や「連帯感」を育む生涯スポーツの推進
- ◎ 多様な生涯学習機会の提供



「新・理想郷プラン」基本構想に掲げる「豊かな自然と文化に包まれて誰もが元気で幸せに暮せるまち 名張」の実現に向けて、地域共生社会をより進化発展させ、行政と市民が一体となってさらなる推進を図るための計画として、第2次基本計画を策定しました。

総合企画政策室 63-7389

【名張市総合計画の計画期間】

「新・理想郷プラン」基本構想 2016(平成28)年度から概ね10年間

2016年度 2019年度 2022年度 2025年度

第1次基本計画
(3年)

第2次
基本計画

第2次基本計画は、2019年度~2022年度の4年間とします

【計画の推進にあたって】

地域共生社会の
進化発展

人口減少に立ち向かうため、市民や地域が主体となって助け合う地域共生社会を進化発展させ、地域の実情に応じた自主・自立によるまちづくりを目指します。

適切な進行管理

目標達成に向けた的確な進行管理を行い効果・効率的な施策展開を図ります。

持続可能な
行財政運営

将来にわたり持続可能な行財政運営に取り組み、市民の期待に応える魅力あるまちづくりにつなげます。